

みどりの風

山口県自然観察指導員協議会 会誌

No.94

2017年 4月 (春号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています。

スキルアップ情報

2017年度 自然観察指導員講習会 in 山口



日時 平成29年5月13日(土)～14日(日)
場所 山口県山口市徳地船路668
宿泊 山口徳地青少年自然の家
主催 日本自然保護協会・山口県自然観察指導員協議会

2017年度 中国五県自然観察指導員交流会 in 山口



日時 平成29年8月26日(土)～27日(日)
場所 山口県周防大島町外入^{とのにょう}

※詳細は次号(夏号)でお知らせします。

今後の会議の予定

行事名	開催日時	場所
第2回役員会	平成29年3月25日(土)13時～	山口市徳地青少年自然の家
第3回役員会	平成29年6月4日(日)10時～	下松市中央公民館
第4回役員会	平成29年8月20日(日)10時～	周防大島町外入

表紙の説明

ニホンアマガエル

大きな台風が接近するなか、竹垣の先端から心配そうに顔をのぞかせていたニホンアマガエル。ニホンアマガエルは一般的に春から活動を始めますが、2月に冬眠から目覚めてしまう慌て者もいるようです。季節外れのポカポカ陽気に惑わされてしまうのでしょうか。3～4cmほどの小さな体ながら、飼育下では10年近く生きるのだとか。しかし、捕食者のいる自然界において、そこまで生き延びることは容易ではないでしょう。

写真撮影 平成28年10月2日 美祢市 別府弁天池

第5支部 内田 祐介

「古市節分草自生地」 見学会に参加して

会長 大田和彦

平成29年2月17日(金)～19日(日)岩国市錦町で、8回目のセツブンソウ見学会が好天の下行われた。参加者は、各日75名だった。

各日、13時36分錦川清流線で錦駅に到着した見学者を迎え、自生地まで案内し、観察を開始した。毎年セツブンソウの数が増え数千株の可憐な白い花が咲いていた。白く花卉のように見える萼片は、通常5枚であるが、4枚、6枚、7枚のものもある。これらの変り種を探すのも新たな楽しみである。

セツブンソウの南限となる貴重な場所であり、群落も大きいし、大切に保存しながら地域活性化にもつなぐことができればよいと思う。

最終日の19日、16時5分発の帰りの電車を見送る時に駅のホームの山側に珍客=サルが数匹現れ、一緒に見送っているようだった。



セツブンソウ (花びら5枚=通常)



セツブンソウ (花びら4枚)



セツブンソウ (花びら6枚)



セツブンソウ (花びら7枚)

セツブンソウ(節分草) *Eranthis pinnatifida* Maxim



セツブンソウの群落 (錦町)

キンポウゲ科の球根性の多年草。2月の節分頃に咲くところから和名が付けられた。属の学名もギリシャ語の ear (春) と anthos (花) に由来する。

地下に小さい球状の塊茎をもつ。7～8cmの茎を伸ばし、その頂きに経2cmぐらいの可憐な白色5弁花を1輪咲かせる。

花卉は退化して蜜槽となっているが、目立たない。細い長柄のある深裂する根生葉を付け、茎の上部に同様に深裂する苞状葉を輪生する。セツブンソウも栽培されるが、園芸的には南ヨーロッパ原産のキバナセツブンソウの方が多く栽培されている。両種ともに山草として鉢栽培にして楽しめることがある。繁殖は実生により、種子は採りまきすれば翌春発芽し、3年後から花を付ける。(平凡社 世界大百科事典より)

第4支部活動報告 (11~2月)

第4支部 笹尾克之

・園内散策ツアー 11月6日(日)

担当：笹尾・井上

山陽小野田市江汐公園の「秋のふれあい祭り」に合わせてどんぐりと小枝のクラフトと園内散策ツアーを、行いました。

どんぐりと小枝のクラフトは、終日子ども達に囲まれ大盛況でした。

散策ツアーは午前1回、午後2回行い参加者は30人、少し寂しい散策となりましたが、ラクウショウ、イスノキなど色んな質問がでて楽しい散策でした。



秋の忘れ物(落羽松) 徳永志夫撮影
(28年度山陽小野田市自然保護協議会写真展)
市長賞を受賞されました。



楽しそうにどんぐりと小枝のクラフトづくりをする親子のようす

・郷土の歴史と巨木観察会 11月13日(日)

担当：笹尾・井上

山陽小野田市内の歴史を振り返りながら先人が残した樹木を巡るツアーを開催しました。

参加者33人、マイクロバスと8人乗り普通車の2台で山陽小野田市文化財審議会委員の案内で回りました。



普段は見過ごしている巨木に改めて知る良い機会でした。

・観察会(カブトガニとクロツラヘラサギ) 2月19日(日)



カブトガニの説明パネルを見学する参加者たち

担当: 笹尾・井上
山口カブトガニミニ展示館でカブトガニの説明を受けました。
厚狭川河口に世界に約2,700しか生息していないといわれているクロツラヘラサギの観察会を行い、6羽確認しました。
この観察会の参加者は25人でした。

今 後 の 予 定

・ 3月20日(祝) 椿まつり

(担当: 笹尾)

○江汐公園バードウォッチング

8:00～10:00

江汐公園管理棟前集合

○江汐公園「花と緑を語る会」江汐散策

10:30～11:30

江汐公園管理棟前集合

11:00～

椿苗木植栽

募集人員: 20人(事前に山陽小野田市都市計画課に申し込み。)

・ 4月16日(日) つつじ祭り

(担当: 笹尾)

○江汐公園バードウォッチング

8:00～10:00

江汐公園管理棟前集合

○江汐公園散策

10:30～11:30

江汐公園管理棟前集合

13:00～14:30

江汐公園管理棟前集合

・ 4月23日(日) 竜王山の自然観察

(担当: 嶋田)

9:30～15:30

きらら交流館大研修室

募集人員: 40人

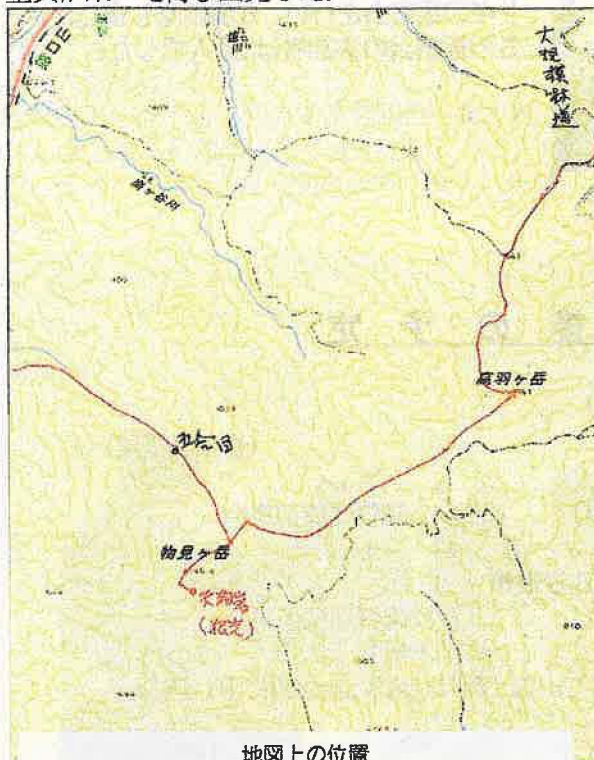
※ 4月10日(月)までに(公財)山口県ひとづくり財団環境
学習推進センターに郵送又はFAXで申し込んでください。

FAX: 083-987-1720

山口市阿東の物見ヶ岳・高羽ヶ岳縦走

第6支部 永井要明

2016年12月11日(日)、北浦自然観察会は7:00に萩市中央公園を出発し、7:40に生雲農協に19名が集合した。地図などを配った後、自家用車5台で大規模林道の高羽ヶ岳登山口(下の地図を参照)に行った。ここは標高が500m以上有り、舗装道路は凍結しているが、車の走行には特に支障がなかった。ここに一台を置いておき、残りの4台に全員が乗って再び出発した。



地図上の位置

阿東篠目の橋本と言うところの台地の上に神社があり、その駐車場に4台の車を駐めた。ここから物見ヶ岳登山口の看板まで30mくらい歩く。そこからイノシシの柵のそばの道をしばらく歩く。間もなく道は尾根コースと谷コースの二手に分かれる。私たちは谷コース(左側・東側)を選んだ。中島篤巳先生の「山口県の百名山」に出ている道である。小さな尾根を越え隣の谷に入る。



がけ崩れ箇所にあった標識ロープ

そこで最初の難関に出会う。崖が崩れていて細い9mmの標識ロープが張ってあるが緩すぎて危ない。気をつけながら通り過ぎた。



がけ崩れ箇所と標識ロープ



上から写したのがけ崩れ

これから谷に入ってもかなり危険なところもある。

近年は尾根コースを通る人も多いのではないと思う。ただ、植物は谷コースの方が多彩ではないと思う。ツリガネツツジやコクランが有る。



↑遠くに高羽ヶ岳を望む

←天狗岩の岩石はいかにも火山性の物に見える。

物見ヶ岳層の中にデイサイト質火山角礫岩と言うのがあり、それだと思いが断定できるほどの地学的識見は私にはない。

山頂に戻って昼食後、12:30には高羽ヶ岳を目指して出発した。道は10年以上前に来たときよりはるかに良い。途中ミヤマシキミの花が有った。実もなっていたので花と実が同時に見られた。



ミヤマシキミの花



ミヤマシキミの実

物見ヶ岳を過ぎて間もなく小高い所で右に90度くらい大きく曲がる場所がある。道を間違えたのかと思ったが、次第に左に向きを変え、高羽ヶ岳が見えてくるので安心する。アップダウンを何回か繰り返す。ムラサキマユミがあった。ムラサキマユミは普通葉がもっと細かいが、このように丸みを帯びた物がある。サワダツに似ているがサワダツは落葉性で冬には葉がない。



ムラサキマユミ

14:00頃高羽ヶ岳山頂(761m)に着いた。眺望は10年以上前に来たときよりはるかに良い(右上と下の2枚)。かなりの数の人が集団で切り開いたような感じである。



高羽ヶ岳山頂の眺望



↑速くに高羽ヶ岳を望む

←天狗岩の岩石はいかにも火山性の物に見える。

物見ヶ岳層の中にデイサイト質火山角礫岩と言うのがあり、それだと思いが断定できるほどの地学的識見は私にはない。

山頂に戻って昼食後、12:30には高羽ヶ岳を目指して出発した。道は10年以上前に来たときよりはるかに良い。途中ミヤマシキミの花が有った。実もなっていたので花と実が同時に見られた。



ミヤマシキミの花



ミヤマシキミの実

物見ヶ岳を過ぎて間もなく小高い所で右に90度くらい大きく曲がるところがある。道を間違えたのかと思ったが、次第に左に向きを変え、高羽ヶ岳が見えてくるので安心する。アップダウンを何回か繰り返す。ムラサキマユミがあった。ムラサキマユミは普通葉がもっと細かいが、このように丸みを帯びた物がある。サワダツに似ているがサワダツは落葉性で冬には葉がない。



ムラサキシキミ

14:00頃高羽ヶ岳山頂(761m)に着いた。眺望は10年以上前に来たときよりはるかに良い(右上と下の2枚)。かなりの数の人が集団で切り開いたような感じである。



高羽ヶ岳山頂の眺望



山頂の景色



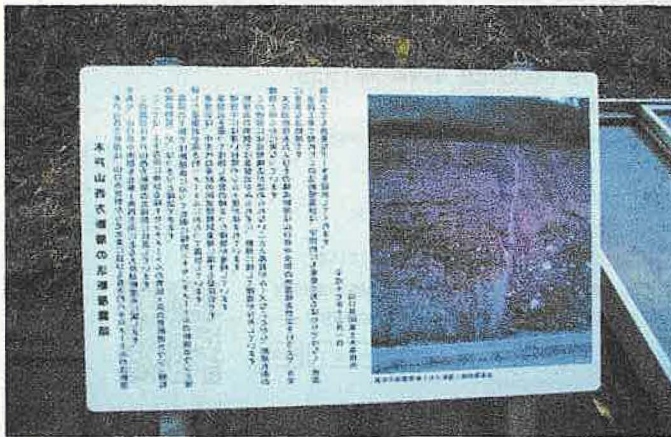
オオウラジロノキの実



山頂でのスナップ写真

大規模林道に向かって下山を開始した。この道は新しく開設されたもので、昔は長門峡駅の近くの薬師堂に向かって2時間くらいかけて降りたものである。新しい道は間もなく二手に分かれるがどちらを通っても同じ所に出る。オオウラジロノキの実が落ちていた。リンゴの仲間なのでリンゴに似ている。

15:20、下山した。登山開始から6時間10分掛かった。天気も良く、空気も澄んでいて遠くがよく見えたので快適な自然観察になった。この二つの山は山頂の眺めを良くしたので近年登山者が増えているような気がする。直感で200人〜500人くらいの登山者があるような気がした。大蔵ヶ岳よりはかなり登山者が多いようだ。



案内板



活断層の保存施設

時間が有ったのでついでだから篠目の活断層が保存されているところに行った。案内板には木戸山西方断層の北端と書いてあるが、私ははっきり徳佐・地福断層の一部だと思っていた。

雨が降り込まないようにガラスで覆われているので、光って見えにくいですが、現地に行けば角度を変えてみると良く解る。貴重な物であると思う。

最後に、よい勉強になった。

ともにふれあい仲間を増やそう

5年ぶりに山口県で開催

自然観察指導員講習会参加へのおさそい



第524回 NACS-J 自然観察指導員講習会・山口県のおさそい

主催：公益財団法人日本自然保護協会

共催：山口県自然観察指導員協議会

1978年から始まり、全国で2万9000人が受講しているNACS-J自然観察指導員講習会。

1泊2日の充実したプログラムで自然保護の考え方や自然観察の手法を学び、自然の「みかた」を身につけます。

あなたもこの機会に参加し、自然を守る力になりませんか？

- ◆ 開催日 2017年5月13日(土)～5月14日(日) 開大英館・原則1泊2日
- ◆ 会場 国立山口徳地青少年自然の家(山口市徳地668) 現地集合・解散
- ◆ 費用 2万4000円(受講料、初年度登録料、NACS-J会費(裏面参照)、テキスト代、保険料、1泊3食を含む)
- ◆ 定員 40名(申込み多数の場合は抽選・申込期終了後10日以内に申込者全員に結果通知)
- ◆ 対象
 - ・満18才以上で、1泊2日のすべてのプログラムを受講できる方
 - ・自然保護教育の必要性を認識し、自然観察活動の推進に意欲があり、できるところから実践の第1歩を踏み出す意欲のある方、また現在活動されている方
- ◆ 申込期間 3月27日～4月17日まで。定員に余裕がある限りは4月18日以降も随時受付
- ◆ 申込方法 ①郵送・メール ②ホームページの専用フォーム
〒744-0043 下松市東陽2-2-5 大田和彦宛
E-mail: ota.red@kvision.ne.jp



第524回 NACS-J自然観察指導員講習会・山口県 申込書

- 氏名(姓が左) (男・女) 歳 (生年月日 19 年 月 日)
- 住所 〒
- 電話番号 () ■E-mail
- 職業 ■所属団体
- (公財)日本自然保護協会(NACS-J)の会員ですか？(お申し込み時点で、該当するものに印をつけてください)
☐ いいいえ / ☐ NACS-J会員です(会員No.) / ☐ 家族が会員です 裏面もご記入ください

日程表 (予定)

5月13日(土)

5月14日(日)

受付 9:00・開講式 9:30

野外実習①

「自然観察の視点」

～森を通して自然のしくみを見にいこう～
昼食

講義①「自然の保護」

～生物多様性の保全と私たちの暮らし～

自己紹介

講義②「自然の観察」

～自然観察会と指導員の役割～

夕食・諸連絡

情報交換会

朝食

野外実習②「自然観察会の企画」

～こんなテーマで自然を観察しよう～

野外実習③「自然観察会の企画」

～自然観察会の下見から展開を考えよう～
昼食

野外実習④「自然観察会の開催」

～実際に自然観察会をやってみよう～

書類の提出・まとめ・閉講式

解散 16:30 予定

参加申し込み

〇4月17日までに、
専用の申込書を郵送
またはメールで「山口
県自然観察指導員会」
会長「大田和彦」まで
申し込んでください。
〇参加費は、自然保護
協会から抽選結果と
ともに通知されます。
〇詳細は、下記会長ま
でお問い合わせくだ
さい。

■ 大 田 和 彦
〒744-0043
下松市東陽 2-2-5
Tel (Fax) 0833-46-0103

日程表 (予定)

5月13日(土)	5月14日(日)
8 受付 9:00・開講式 9:30	8 朝食
9 野外実習①	9 野外実習②「自然観察会の企画」
10 「自然観察の視点」	10 ～こんなテーマで自然を観察しよう～
11 昼食	11 野外実習③「自然観察会の企画」
12 ～森を通して自然のしくみを見にいこう～	12 ～自然観察会の下見から展開を考えよう～
13 昼食	13 野外実習④「自然観察会の開催」
14 講義①「自然の保護」	14 ～実際に自然観察会をやってみよう～
15 ～生物多様性の保全と私たちの暮らし～	15 書類の提出・まとめ・閉講式
16 自己紹介	16 解散 16:30 予定
17 講義②「自然の観察」	
18 ～自然観察会と指導員の役割～	
19 夕食・諸連絡	
20 情報交換会	
21	

講師紹介
(予定)



星野由美子
自然保護協会 自然観察指導員会
山口県自然観察指導員会 会長



植田博一
公益財団法人 日本自然保護協会



足立高行
大分県自然観察指導員会 会長
及び 県立自然観察指導員会 会長

様々な場で活躍する指導員

各地の自然観察指導員は、独自の自然観察会を創設し、地域の生物多様性保全を担うボランティアリーダーとしての役割を果たしています。

自然観察会の企画・運営	学校の自然観察指導員	ビジターセンターや博物館で自然観察会を開催
環境モニタリングの調査員になる	フィールドの調査・調査結果を報告	企業のCSR活動に参加する
観光客に自然の魅力を伝える	保護地域の監視員を引き受ける	地域の環境問題を考える委員会に参加する

お問い合わせ 公益財団法人日本自然保護協会 自然観察指導員講習会担当
〒104-0033 東京都中央区新富1-16-10 ミトビル2F TEL: 03-3553-4105 E-mail: kansetsu1979@nnp.jp

※ 自然観察会の活動歴や、参加の動機、今後の活動の希望をご記入ください。(150字程度・簡式自由)

※ NACS-J 自然観察指導員講習会をごらんでいただきました。

登山道整備

本部 黒田義則

(寂地山)

10月10日(月:体育の日)、暑い夏もやっと収まり整備作業に適した季節となった。この日は、前自然公園管理員の高辻さん、大田会長、高畑さんと我が夫婦の5名の参加であった。そこへ珍しい事に高辻氏の後任の宇川氏が来て一緒にスタートした。寂地山頂直下の肩のベンチで打ち合わせをして右谷方面へ向かった。しかし、宇川氏はミノコシへ行くと言って去っていった。整備作業仲間の少ない中、高辻さんには退任後も手伝ってもらえ感謝している。最初の頃の倒木バリアーは既に朽ちてしまっているのを補修し、未整備の部分は新設することで作業を開始した。夏の台風で倒木が多く、大きめの生木も適当に入手できたが結構重く切断にも力を使った。材料の入手が順調にいったお陰で仕事としてはかなりはかどり、見映えの良いバリアーが出来た。途中、ユキザサが真っ赤な実を付けていて見事であった。

昼食後 整備作業をしながら復路についた。その頃、宇川氏が一人の登山者を連れて戻ってきたが、そのまま寂地山直下の下山道方面へと通り過ぎ下山した模様。



ユキザサ



整備後の遊歩道

(小五郎山)

10月15日(土)は、純粹に登山道整備を目的に行った。小五郎山の持ち主である山本譽さんが80歳の高齢で、整備が思うように出来なくなったので高辻さんをお願いしたとのことで我々も加担した経緯がある。ここでも、宇川さんの話になった。彼にとっては仕事のはずだがほとんど姿を見せない。本年は1度来たが挨拶だけで山には入らず帰ったと言う。今日は山本さんも同行された。笹刈りの鉄則は登りに谷側を刈り、下りに土手側を刈ることである。その姿勢が腰に負担を掛けないと言う。全くその通りであった。今日は山本さん、高辻さん、大田会長、脇田さん、高畑さんと我が夫婦の7名で 笹刈り主体に実施した。



笹刈り風景



山頂でのスナップ写真

理科の社会見学会 ～ 事前調査の大切さ ～

第5支部 植田高弘

2月下旬、ある下関市内小学校の
教頭先生から電話を頂く。

内容は、「卒業記念として、3月初
旬までに鍋島で、児童に化石採集の
体験をさせてやりたい」という問い
合わせであった。

付帯条件として、卒業式の週を除
く、午前か午後の2～3時間程度、
学校から現地の往復については、マ
イクロバスを借りる。現地で私と合
流するということであった。急な問



楽しく貝の化石を見つけたい

い合わせだったが、。昨年、出前授業でお世話になっていたので、「理科の社会見学会」が
実現できるよう自分を冷静にして、一つひとつ事前準備をしていくことにした。

先ず、潮の干満から採集日の決定である。期間中、大潮に準ずる良い日が3月9か10日
で、週間天気から9日午後と決定した。さらに、ハンマー・タガネ・ゴーグル等、つものしま
自然館に依頼して準備万端。と思いきや、当日の天気予報は、強風注意報、波の高さ2～3
m 心配事は続く。当日、私は「明日に延期しますか」の問い合わせに学校側は「日程の都合
上、今日実施したい」の返事、急いで現地へ行き、午前10時30分到着。海岸の様子を観察
する。過去、長靴の中に水が入った場所も通ることができた。風は強かったが海食崖のせり
出しで波しぶきの影響も殆どなく、島まで安全に渡れることを確認したので、学校へ「今日
は実施可能です」と自信をもって連絡した。自然館から借りた道具も、あらかじめ幾つ借り
たか数を控えておいた。午後、児童と合流、挨拶もそこそこに島へ渡り児童は採集を始めた。

「ハンマーを思い切りたたいてけがをしないか」心配したが杞憂であった。児童全員けがも
なく無事に化石採集は終了し、安堵と喜びの顔を観た。借りた道具も事前の数通り回収する
ことができた。改めて事前準備の大切さはもちろんであるが、当日の現地確認の必要性も重
要だと思った次第である。



角島大橋

バードウォッチングメモ

第3支部 中野伸治



恒例行事となったバードウォッチングの様子 (昨年)

観 察 内 容

2017年2月6日 場所:由宇川 天気:晴れ
岩国市立神東小学校 児童+教員 20名程

○河口付近 カモメ類 1000羽以上

- ・ユリカモメ (洗羽) ・セグロカモメ
 ｸﾋﾞｼ・ﾌｼ ｹﾝｼﾞ
- ・カモメ ・ウミネコ (ニャーニャー)
- ・ヒドリガモ ・オナガガモ
 (ﾋﾞｭｰｲ) (尾毛首毛細長)
- ・ウミアイサ♀

○由宇総合支所裏

- ・ダイサギ (死ｼﾞ 鯉ﾌ餌ｼｼｲ)
- ・コサギ (足先が黄色)
- ・ハクセキレイ ・ドバト
 (目ノ上下が白)
- ・トビ (三味線が尾羽)

○中村集会所付近

- ・カワラヒワ (羽黄) ・スズメ
- ・ホオジロ ・セグロセキレイ
- ・コガモ (緑垂れ目) ・カルガモ
- ・カイツブリ ・アオサギ
 (ｷｭｳｳ…) (ｸﾞﾜ)
- ・イソシギ ・ハシブトガラス
 (長尾 ﾋﾟﾝﾎﾟﾝ) (ｶﾞｶﾞ)
- ・ノスリ …ﾊｼﾌﾞﾄはｶﾞｶﾞ…
 (先丸尾羽)

帰る途中にマガモ

○神東小学校付近

- ・シロハラ ・ツグミ
- ・ヒヨドリ (ﾋﾞｰﾋﾟｰｺ)

観察会での気づき…

今年は河口付近にたくさんのカモメたちがいました。みんながみんな羽が逆立たないように風上を向いていました。中州は周囲にある水で安全地帯となっていて、比較的警戒心が薄れ、賑やかでした。1,000羽近くいたのではないのでしょうか…

『なぜ、違う種類が一緒にいるの?』など、自分が疑問に感じたことを聞いてくる児童もいました。

同じような場所で生活する鳥たちは、一緒にいる誰かが危険に気づくことで集団として安全度を高めているようだと答えましたが、本当のところは鳥に鳥語で聞かなければ確かめられません!?

自分たちを襲うことのあるノスリと間違えて、トビが飛んできて一斉に飛び立つ場面も見られました。

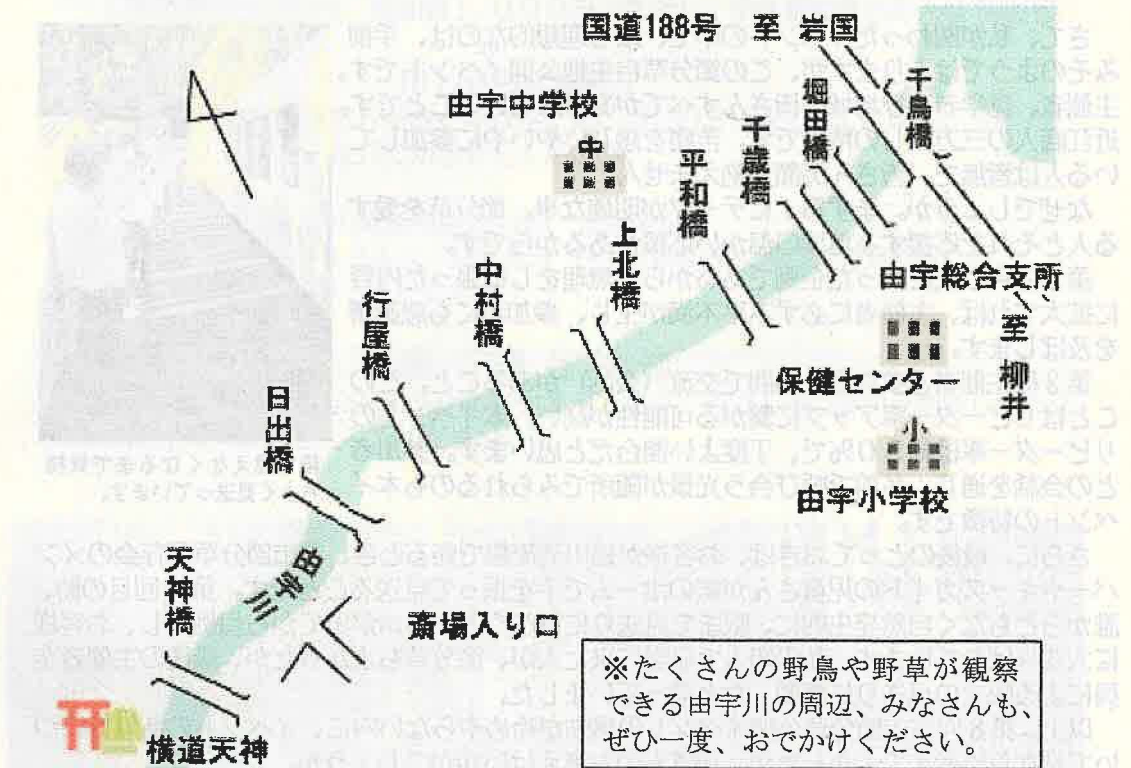
カイツブリは潜水名人(鳥)でしたが、赤茶色(緋色)の頭のヒドリガモや雌雄同色のカルガモ【夏(カ)になっても北国へ帰らずに留(ル)まる鴨(カモ)】たちは逆立ちして水底の植物を食べていました。あの半分見える尻尾がかわいかったです。

『あれはシラサギですか?』

いえ…白いサギをまとめてシラサギと呼びますが、シラサギという名の鳥はいません。しかし、いろいろな〇〇カモメがいる中に、カモメという名のカモメもちゃんといます、と答えると〇〇は?△△は?…

名前にも行動にも興味を持ち、いろいろ質問してくれて、とても楽しい観察会でした。

以上



節分草自生地公開イベントで思うこと

第1支部 林 節司



小学生による人気のキッズガイド

節分草特別公開イベントも、今年で8回目を無事終えることができ、今はホットしているところです。幸いにも天候に恵まれ、見学者の方々も大満足の様子でした。

ところで、私は今までたくさんのイベントを主催したり、参画者の一人として参加したりしてきましたが、節分草自生地公開イベントを振り返りながら、イベントのあり方について考えてみたいと思います。

※イベントの定義はいろいろあるかと思いますが、ここでは大小にかかわらず、主催者の企画で参加者を集める行為全般と考えてください。

まず、イベントの主催者は、基本的には楽しくなくてはなりません。苦痛を感じたり、いやいやにやるようではやらない方がましです。お客様にも迷惑がかかります。



セツブンソウ

次にイベントが成功可否かを図る目安として参加者数を意識しすぎているように思います。やはり参加者数が多いに越したことはないが、ただ想定外の人数が来た場合は各部門に支障が出る場合があり、様々なトラブルが発生する。このことは次回開催にも影響し、悪名高きイベントに膨れ上がり、いずれ廃止になる場合が多いのではないのでしょうか。

もう一点、イベントの内容が金太郎飴のようで、どこのイベントでも歌謡ショウやよさこい、露天商などどこの地域のイベントなのか、わからない場合が往々にしてあります。これもおそらく、主催者が企画の段階から苦痛を感じ、イベント会社に丸投げしているからだと思います。

さて、私が関わったイベントの中で、最も理想的なのは、手前みそのようではありますが、この節分草自生地公開イベントです。主催者、見学者及び地域の皆さんすべてが楽しんでいくことです。近江商人の三方良しの精神です。苦痛を感じいやいやに参加している人は皆無で、皆さん笑顔が絶えません。

なぜでしょうか。まず第1にテーマが明確な事。節分草を愛する人とそれを応援する地域の温かい応援があるからです。

第2に身の丈に合った企画であるから。無理をし欲張った内容に拡大すれば、主催者に必ず不平不満が生じ、参加者にも悪影響を及ぼします。

第3に主催者と参加者との間で交流（会話）があること。このことはリピーター率アップに繋がる可能性が高い。本イベントのリピーター率は約50%で、丁度よい割合だと思います。参加者との会話を通じ、名前で呼び合う光景が随所でみられるのも本イベントの特徴です。

さらに、最後のとおきには、お客様が錦川清流線で帰るとき、古市節分草保存会のメンバーやキッズガイドの児童さんが駅のホームで手を振って見送ることです。第1回目の時、誰からともなく自然発生的に、駅まで見送りに行こうという声が出てから恒例化し、お客様に大変喜ばれています。私の知人で見学に来た人が、節分草もよかったが、最後の主催者全員による駅での見送りに感動したと言っていました。

以上、第8回古市節分草公開イベントの感動が冷めやらない内に、イベントのあり方について私なりに考えてみましたが、皆さんのお考えはいかがでしょう。



皆で見えなくなるまで気持ちよく見送っています。

第6支部（北浦自然観察会）

第6支部 永井要明

2017年

4月22日（土）、23日（日）鳥取県智頭町 那岐山 イワウチワ他
5:00 萩市中央公園駐車場 6:00 津和野道の駅「なごみの郷」
バス定員有り 参加費 22,000円

4月29日（土）十種ヶ峰のヤマシャクヤク
8:00 萩中央公園駐車場 9:00 神角八幡宮
自家用車乗り合わせ 参加費1,000円（但し、神角八幡宮集合の人は500円）

5月13日（土）、14日（日）江舟岳のホンシャクナゲの観察会（一般参加）
9:00 萩市中央公園駐車場、9:20 川上公民館
参加費無料 各自自家用車で、一部は自家用車乗り合わせ（ただし、他人の車に乗せてもらった人は運転手に500円払う）

6月4日（日）大分県三俣山 長者原～諏峨守越～三俣山～長者原
ミヤマキリシマ等
5:00 萩市中央公園駐車場
バス 定員有り、参加費10,000円

7月2日（日）萩市田万川のヒメユリ・ヒメヤブラン、キキョウ
8:00 萩中央公園駐車場、8:50 須佐駅前
自家用車乗り合わせ 参加費1,000円（ただし、須佐駅前集合の人は500円）

（申し込みと案内）

参加希望者は（旅行）保険をかけるため、当日の3日前までに、氏名、生年月日、電話番号、住所を、永井に知らせてください。

〒759-1421 山口市阿東地福上1103 永井要明
携帯 090-8240-9785（午後6時以後が電話に出やすい）
自宅 083-952-0041

親子連れ歓迎

北浦自然観察会も会員の高年齢化が進んでおり、若い人達の参加を期待しています。遠慮なく参加してみてください。



江舟岳のホンシャクナゲ

第5支部活動報告と計画

第5支部 植田高弘

第5支部では、平成20年(2008年)10月から蓋井島の伐竹活動に取り組んできました。本活動は、今年10月で、10周年を迎えます。今後も計画的に竹伐活動が続けていく予定です。今までこの活動に参加して下さった皆さま方には、厚くお礼申し上げます。

◎会議 2月3日(金) 深坂自然の森会議室で、30年記念誌の原稿の読み合わせ等を行いました。ほぼ体裁を整えつつありますので、もう1回位検討するということになりました。また、会員同士で博物館等に研修に行くという話しも出ました。

つのしま自然館・蓋井島の4～7月の活動日は、下記を予定していますので、協力できる方はお願いいたします。なお、当日の気象条件によっては、中止する場合がありますので、参加予定の方は、つのしま自然館及び植田まで、ご連絡ください。

◎蓋井島竹伐作業日

4月8日(土)及び4月9日(日) 吉見港発 8:30～ 蓋井島港発 15:50
2日間実施しますが、1日の参加も歓迎します。

(注: 8、9日実施できない場合4月22日(土)を予定。5月は実施しません。)

*連絡先 植田: 電話 083-258-2706
携帯 090-2861-9762

◎つのしま自然館の行事 観察会等

5月13日(土)

春のウォーキング自然観察会

10:00～13:00 家族で春を楽しもう。
野草や野鳥などを観察しながら、春を満喫します。

【場所＝牧崎の付け根、旧棚田周辺】



スナガニ掘りに夢中になる子どもたち

5月中旬 ～ 7月中旬

春のウォーキング自然観察会写真展 ウォーキング自然観察会参加者の写真展

7月22日(土) 夏の観察会 10:00～15:00

砂丘の海岸と岩場の海岸を比べて、生き物たちの様々な生活スタイルを観察します。【角島大浜海岸及び鬼の岩周辺】

※参加申し込み・お問合せ等につきましては、つのしま自然館に直接お尋ねください。

◎観察会参加費: 200円(保険料、資料代等を含む。中学生以下は不要、保護者同伴)

参加申し込み・お問い合わせ先

つのしま自然館 電話(FAX) 083-786-0430

休館日 毎週火曜日、

本部からのお願い

会長 大田和彦

今年も、スプリング・エフェメラル開花シーズンを前に散策路(登山道)の点検整備を行ってシーズンを迎えたいと思います。近年、人手不足により荒廃が目立つようになってきていますので、御協力のほどお願いします。

○寂地山カタクリ自生地保全活動及び定点観察会

【整備作業】

日 時 平成29年4月16日(日)

9:00~17:00

集 合 9:00 寂地峡入口駐車場

【定点観察と環境学習会】

日 時 平成29年4月29日(土)

9:00~16:00

集 合 9:00 寂地峡入口駐車場



カタクリの花

○小五郎山金山谷鉾山ルートの植生調査及び保全活動

日 時 平成29年5月5日(金)

8:00~17:00

集 合 8:00 錦川清流線錦町駅



ヤマシャクヤクの花



小五郎山金山谷鉾山ルート(錦町)

共通事項

- ※ 集 合 緑のスタッフジャンパーを目印に!(雨天中止)
- ※ 持 参 品 弁当、お茶、山歩き可能な服装・靴、タオル、軍手、雨具
鎌、鋸(あればどちらか持参下さい)、ゴミ袋
- ※ 注意事項 保険の対応は各自でお願いします。
参加希望の方は前日までに下記へ連絡ください。
(当日飛び入りも歓迎!!)
- ※ 連絡先 黒田 電話(Fax) 0833-41-4289
携 帯 090-7543-4289
E-mail y-kuroda@kvision.ne.jp

平成29年度第2回役員会議事録

開催日時・場所

日時 平成29年3月25日(土) 13:00~14:30

場所 徳地青少年自然の家 会議室2 出席 8名

(議事)

1 自然観察指導員講習会事前打合せ

- ・NACS-Jから福田博一氏が来山、当日の流れやスタッフの心得等について打ち合わせた。当日のプログラムについては別のページに掲載。
- ・当日スタッフとして最低6人必要。現在確定は4人、最低あと2人以上必要。協力できる人は是非お願いします。
- ・受講者の勧誘と宣伝を引き続きお願いします。定員40名。

2 中国五県交流会

- ・平成29年8月26日(土)~27(日)山口県周防大島町外入
- ・詳細は次回(6月4日)打合せ

3 30周年記念誌編集会議

- ・原稿は揃い、最後の校正の後、4月中に印刷所へ依頼。

4 「みどりの風」4月号

- ・自然観察指導員講習会の案内とプログラムを掲載し、総ページ数20ページとする。



竜王山での中国五県交流会のようす (2013年)

＜編集後記＞

今年は東京から桜前線がスタートしました。本格的な春の訪れです。さて、本県では今年、講習会や中国地区指導員協議会交流会が開催されます。

今年も、みなさまからの原稿をお待ちしています。日頃の自然や生活のなかでの気づき等がありましたら原稿をお寄せください。 (1)

山口県自然観察指導員協議会会誌

＜みどりの風＞

■発行 山口県自然観察指導員協議会

会長 大田 和彦

〒744-0043 下松市東陽 2-2-5

Tel (Fax) 0833-46-0103

■機関誌編集長 榎田 高弘

〒759-6603 下関市安岡町 8-14-21

Tel (Fax) 083-258-2706